



黒板アート
プロジェクト!

桜丘美術部 × 金沢美術工芸大学

December 2018



黒板アートの特徴は大きく二つあります。一つは、画面の大きさです。美術部の課題でもあった「時間内で描ききるスピード」と「作品の全体と細部を見る力」が同時に求められるため苦戦するかと思われましたが、お手本となる美大生のおかげで乗り越えることができました。

もう一つの特徴は、黒板そのものの色を生かして表現することです。黒板アートでは、一度全体にチョークで色を着けてから、暗くなる部分の色を落とすことで陰影や立体感を表現します。普段描く絵と発想を逆転させなければならず難しいです。また、リアルに描くためにはモノの形を「線」ではなく「面」でとらえることも大切です。

作品とお別れ。また来年も
参加したいですね。



十二月上旬、いよいよ作業開始。一週間という限られた時間の中で最高の仕上がりを目指します。美大生とも自然と打ち解け、描き方を習ったり大学生活のお話を聞いたり、会話が增えていきました。

十一月中旬、金沢市役所にて美大生と打ち合わせ。緊張感と期待で胸がいっぱいでした。

市内小学校で不要となった黒板をアートキャンパスとして、金沢美術工芸大学 日本画・油画専攻の学生と本校美術部がコラボ作品に挑戦しました。



完成後のプレゼンテーションの様子。市長、副市長も同席されました。代表者はみんな、堂々と作品を語る事ができました。

